



黙らざれず「戦争は嫌」声あげよう

法政大学名誉教授・前総長 田中優子さん

岸田政権は5年で43兆円、GDP(国内総生産)も総選挙もなく、戦後の安全保障原則の大転換を比喩の「防衛費」を打ち出しました。国会審議 軍拡・大増税の道は、

労働者の賃上げ、ひとり親家庭、非正規労働者、性的マイノリティーなどの公的支援の政策を棚上げ

女性には戦前、大日本婦人会など、銃後を守る存在として我慢を強いられ、「国を守るため」と組織化されていきました。私たちが十分に警戒する必要があります。黙らされることなく、「戦争は嫌だ」と声を上げる必要があります。

2面につづく



質問する志位和夫委員長 = 1月31日、衆院予算委

衆院予算委 志位委員長告発 衝撃の米文書

敵基地攻撃

自衛隊が米軍と「融合」

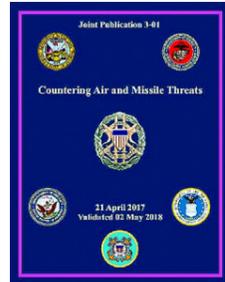
米国の「統合防空ミサイル防衛」(IAMD)に参加し、自衛隊は敵基地攻撃能力を行使して一体にたたかうことになる。日本共産党の志位和夫委員長は衆院予算委員会(1月31日)で、「専守防衛」を投げ捨て、自衛隊と米軍が融合するように一体化して海外の戦争にのりだし、日本に報復を招く敵基地攻撃の危険な実態を告発しました。

「先制攻撃」を明記

志位氏は、米国が同盟国と一体に地球規模で構築するIAMDに、部が作成した文書「対敵基地攻撃」に関する資料を示し、航空・ミサイル脅威。

米国の「統合防空ミサイル防衛」(IAMD)の基本原則から

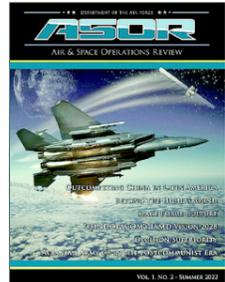
- 「(攻勢対航空作戦の攻撃目標)ミサイル・サイト、飛行場、指揮統制機能、インフラストラクチャー」
「敵の航空機やミサイルを離陸・発射の前と後の双方において破壊、または無力化する」
「攻勢対航空作戦は先制的にも対処的にもなる」



米統合参謀本部作成の文書『対航空・ミサイル脅威』

米インド太平洋軍「IAMD構想2028」

- インド太平洋軍の広大な管轄では、同盟国や友好国が絶対に重要
同盟国と「隣に並んでの(サイド・バイ・サイド)統合」でなく、「切れ目のない(シームレス)な融合」
すべてのプレーヤー・コーチが、同じプレイブックを持ち、一緒に訓練し、一緒に作戦を実行。敵からは1つのチームと見られる。



米空軍の機関誌『航空宇宙作戦レビュー』(2022年夏号)

志位事務所作成のパネルから

志位氏は故・加藤周一氏(評論家)の言葉を紹介します。「戦争の準備をすれば、戦争になる確率が大きい。平和を望むならば、平和の準備をした方がいい」

飛来するミサイルを迎撃する「ミサイル防衛」とともに「相手国の領域」で攻撃作戦を行うとし、その攻撃目標にミサイル・サイト(基地)、飛行場、指揮統制機能などをあげ、公然と先制攻撃することも宣言しています。(パネル上) 岸田文雄首相は「アメリカが国際法違反(先制攻撃)を堂々とやることはない」と弁明。志位氏は米国がグレナダ侵略、リビア爆撃、パナマ侵略など国際法違反を重ねてきたと批判しました。もう一つは米空軍発行の機関誌『航空宇宙作戦レビュー』に掲載された米インド太平洋軍の「IAMD構想2028」の解説です。(パネル下)。米国と同盟国が「同じプレイブックを持ち」シームレス

「切れ目のない融合」の必要性を強調。自衛隊が独自で行動するなどありえませんが、日本への攻撃がなくとも米軍が海外で戦争を始めたら自衛隊が米軍と「融合」して敵基地を攻撃する。その結果は相手国の報復攻撃による国土の焦土化です。



桐谷 健太さん



32 生誕100年 23 世界 池波正太郎の世界 最後の絶唱



うちカフェ 三笠 薫さん 9 祐成二葉さん おやつ 4 輝きますます



有事想定 恐怖の焦土化シナリオ 原発事故 東電幹部の責任 徹底 31 29



直木賞『しろがねの葉』 千早 茜さん 3

大阪カジノ新証拠 不当に安い用地鑑定 詐欺同然 16 高市大臣カネ疑惑 第4弾 2 小さい世界の小さい声を聞く